

2017年7月26日

各位

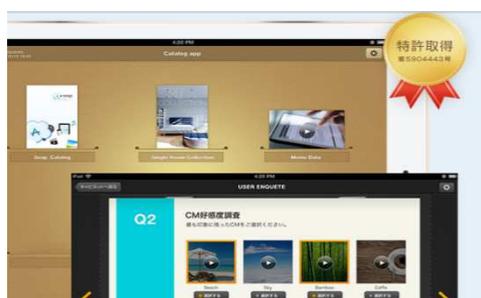
会社名 日本アジア投資株式会社
代表者の役職名 代表取締役社長 下村 哲朗
(コード番号 8518 東証一部)
問い合わせ先 執行役員 岸本 謙司
TEL 03(3259)8518

法人向けにタブレット活用アプリ、IoTを活用した位置情報管理サービス、AIを活用したチャットボット（自動会話プログラム）サービスを手掛ける株式会社ジェナへの投資実行のお知らせ

日本アジア投資株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:下村 哲朗、以下:当社)は、株式会社ジェナ(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:手塚 康夫、以下:ジェナ)へ投資を実行いたしました。

ジェナは、大企業向けに、タブレットをカタログ・アンケート・ラーニング等に活用するためのアプリを作成・管理するプラットフォーム「seap(シーブ)」や、Beacon(*)を活用して位置情報を管理するIoTサービス「Beacapp(ビーキャップ)」、AIを活用したチャットボット(自動会話プログラム)サービス「hitTO(ヒット)」を手掛けるベンチャー企業です。

1. 投資の概要



法人向けiOSデバイス活用プラットフォーム seap

seapはiPadのビジネス活用に必要なカタログ/アンケート/ラーニング等のアプリをブラウザひとつで簡単に作成できるプラットフォームです。2012年のリリース以降、5万台以上のiPadで活用されています。利用できるユーザー数、作成できるアプリ個数は無制限、iPadのビジネス活用を強力に支援します。



法人向けBeacon管理プラットフォーム Beacapp

Beaconをビジネスシーンに導入することで、今までできなかった近距離での通知を簡単に実現できるようになりました。例えば、手ぶらでの出退勤管理や、打ち間違いの無い点検管理、屋内での利用者の行動把握など、その用途は様々です。ジェナではBeacon対応アプリを簡単に作成できる、法人向けBeacon管理プラットフォーム「Beacapp」のサービスを提供・運営し、より多くの企業がBeaconを有効活用できるよう導入事例を創出してまいります。



AIチャットボットをビジネスの最高の相棒に hitTO

hitTO(ヒット)はユーザーと自然な対話ができるAI(IBM Watson)を活用した高機能なチャットボットを迅速かつ簡単に提供できるソリューションです。

ジェナは、2006年に創業し、当初はタブレット向けアプリの受託開発事業を行っていました。

スマートフォンの登場以降、スマートフォンやタブレットをビジネスの現場で利用したいという企業の要望に応え共同で開発を行い、主に大手企業との取引関係を広げ事業基盤を構築してきました。

その事業基盤を活用し、現在では、自社プロダクツの開発・販売を事業の中心としています。2012年にリリースした「seap(シープ)」は、タブレットの法人利用でニーズの高い5種類(カタログ・アンケート・ラーニング・フォルダ管理・サイネージ)全てのアプリを、簡単に作成・管理できるプラットフォームです。テンプレートから選択する簡単で直感的に分かり易い操作性や高いデザイン性を特徴とし、発売以降現在までに5万台以上のタブレットに導入されています。

今後は、2つの自社プロダクツを追加し、さらに事業を拡大する方針です。その1つ「Beacapp(ビーキャップ)」は、Beacon(*)を活用した位置情報管理のIoTサービスを、簡単かつ迅速・低コストで実現するクラウド型のプラットフォームです。導入事例として、倉庫内のトラックの状態を可視化して待機時間を短縮したり、工場内でのフォークリフトの稼働状況を可視化して効率化することに成功しており、物流業界の合理化に資するサービスとしても注目を集め始めています。

もう1つの「hitTO(ヒット)」は、AI(IBM Watson)を活用して、ユーザーが入力した質問に最適な回答を自動的に行うチャットボット(自動会話プログラム)です。主に企業内における営業支援や社内ヘルプデスクなど、問い合わせへの対応の合理化・自動化を目的として導入が進んでいます。

当社は、今般の投資に加え、今後もさらなる成長に向けてジェナを支援してまいります。

2. ジェナの概要

社 名 : 株式会社ジェナ

代 表 者 名 : 代表取締役社長 手塚 康夫

本社所在地 : 東京都千代田区東神田 3-1-2

設立年月日 : 2006年3月

URL : <http://www.jena.ne.jp/>



以上

(*) Beacon(ビーコン)とは、低消費電力の近距離無線技術であるBluetooth Low Energy(BLE)を利用した位置特定技術と、その技術を利用したBLE信号の発信機のこと、BLEの信号を数秒に1回、半径約30mの範囲内に発信します。Beaconを配置し、スマートフォン等の受信機でBLEの信号を受信すると、位置情報を捕捉することができます。